

一 般 質 問

光田 茂議員
(自由民主党議員団)

教育は学校、しつけは家庭

問 大牟田地域教育力向上啓発リーフレットの作成意図や、実現への方策に関する決意を聞きたい。

答 大牟田地域教育力向上推進協議会では、学校・家庭・地域・関係機関との連携を図り、教師も保護者も地域も、ともに育ち、子供たちとともに育てる風土醸成のための諸活動に取り組んでいる。

同リーフレットは、その活動の一環として、家庭や地域の取り組みの充実の啓発を図るために作成することになった。これを一月下旬に小中学校の全家庭等に配布予定で、各家庭での継続的な実践を促すよう、PTAや学校からも啓発を図り、地域の協力も仰ぎたい。また、要約版を広報おおむた等に掲載し、実効性のある活動の推進に努めたい。

古庄 和秀議員
(社民・民主・護憲クラブ)

障害者就労の推進と財政効果

問 障害者が就労することは、様々な人生経験の機会がふえるとともに、賃金を得ることで、納税による財政効果が生まれることになる。障害者就労の推進と財政効果について考えを聞きたい。

答 障害者就労の推進は、社会参加の促進が図られるとともに、扶助費の削減や税収の増加等が見込まれ、財政負担の軽減が期待される。現行法では、事業所が障害者雇用のために職場環境を整備した場合の助成や、障害者を試行的に雇用して一般就労への移行を支援するトライアル雇用を行う際の奨励金の支給など、障害者雇用を促進する事業所への支援制度が整備されている。今後とも同制度等の啓発を行い、障害者就労の推進に努めたい。

平山 伸二議員
(公明党議員団)

大牟田文化会館駐車場の現状と課題

問 文化会館の駐車場が満車時に、ほかの駐車場所を探るのが大変だと聞く。最近、近隣の駐車場の案内看板が設置されたものの、何らかの対策が必要だと思うが、見解を聞きたい。

答 現状では、文化会館敷地内外へのさらなる駐車場の確保は非常に困難である。一つの方策として、駐車場の立体化が考えられるが、場内の安全・混雑対策、出入口の問題、さらには民家に近いことや文化施設としての景観など、配慮すべき問題もあり、財源等の問題も含め、実現には解決すべき課題が多い。

利用者の利便性を高める駐車場の確保については課題だと認識しており、引き続き検討を行うとともに、公共交通機関の利用もさらに呼びかけていきたい。

平山 光子議員
(社民・民主・護憲クラブ)

若い世代の雇用の問題

問 就職戦線が超氷河期と言われる深刻な状況下で、若者への支援は、国の基盤にかかわる喫緊の課題である。本市も市役所等で若い世代の臨時職員や嘱託員が多数働いているが、公共サービス基本法の精神にのっとり、責任と誇りを持って働くための労働条件の確保と環境の整備が必要と考える。彼らの労働条件は、適正だと考えているのか。

答 本市の臨時職員及び嘱託員は、行政運営の一翼を担っていることから、労働環境を整えることは必要だと考える。特に嘱託員は、最長で五年間の勤務となることから、国や近隣都市の状況を踏まえて労働条件を整備しており、嘱託員の報酬や臨時職員の賃金は、おおむね平均的な水準にあるものと考えている。

塚本 岩夫議員
(公明党議員団)

大牟田市の成長戦略

問 雇用拡大や地域活性化の実現には、これまで以上に国・県との連携や人事交流の拡大、情報交換が大切である。これまでの取り組み及び二十三年度の計画を聞きたい。

答 産業の振興による地域経済の活性化の実現のため、これまで国や県との連携による様々な事業に取り組んできた。また、本市の産業振興に関係の深い国・県等の行政機関と人事交流を行うことで、人材育成やプロジェクトの推進に寄与してきた。産業経済部には、そうした人事交流経験者が多数在籍しており、その経験や人的ネットワークを生かし、情報の収集や相談業務に当たっている。

今後とも関係機関との連携のもと、産業や地域の振興を図っていきたい。